

2012年6月29日

大分市長 釘宮 磐 殿

国保を考える大分市民の会
代表 佐藤秀樹

国民健康保険制度の改善を求める要望書

市民の命と健康を守るために、日々ご尽力いただいていることに、敬意を表します。

さて、市民の暮らしは、長引く景気悪化による所得の低迷、雇用不安、税や社会保障費の負担増など、ますます大変になっています。

今年度は国保税の値上げが行われました。市民から「国保税の支払いに四苦八苦している」、「分割でやっとの思いで支払いしている」「国保税のとりたてが厳しすぎる」「国保税を値下げしてほしい」「資格証明書では重症でも病院に行けない」「減免制度を拡充してほしい」など、切実な声があがっています。国保税の負担は、担税能力の限界をこえるものになっています。

憲法 25 条の理念に立脚した、市民の命と健康、暮らしを守る国保制度への改善を強く要求するものです。

つきましては、下記事項について、改善していただくよう要望いたします。

記

- 1、国保税の値上げなどに繋がる国保制度の広域化はやめること。
- 2、高い国保税を値下げするための措置をおこなうこと。
 - ①国保への国庫負担増額を国に要求するとともに、県に対し低所得者層の税軽減のための助成措置を講ずるよう要請すること。
 - ②基金の取り壊し、一般会計からのくり入れを増額して、国保税を引き下げること。
- 3、短期保険証、受診抑制となっている資格証明書の発行は中止し、すべての世帯に正規の保険証を交付すること。
- 4、生活困窮者への減免基準を大幅に引き上げること。また申請手続きを簡素化すること。
- 5、一部負担金の免除制度については、利用できる制度に改善すること。
- 6、生活実態を無視した厳しすぎる国保税の取り立て、差し押さえ処分などは、原則おこなわないこと。